



編集後記

日本でフルーツ王国として上位に挙がる都道府県として、山形・福島・山梨・岡山県などがあります。山形は洋梨、サクランボ、ブドウ、リンゴなどがありますが、奥羽山脈や朝日連峰などの山々からミネラルたっぷりの水が流れ込む立地とはっきりとした四季、特に夏の昼夜の寒暖の差が大きいことが、果実栽培に向いている理由だそうです。

小職の勤務する日本医科大学は、第二次世界大戦時に山形に疎開していた関係で、関連病院が今でもいくつか存在しています。そのため、毎年山形の病院から医局にサクランボを送っていただいています。しかし、今年のサクランボは不作のようで、山形県内の収穫量は昨年の73%にあたる約9500トンで、1万トンを割るのは1996年以来とのこと。1万トンに近い収穫量ながら少ないとされるのは、それだけ日本人の胃袋に入るばかりか、現在の山形のサクランボは輸出品にもなっているからだと思われます。

山形県や全農山形県本部などでつくる作柄調査委員会というものがあり、寒河江市や東根市などの48園地を調べた結果、複数の花が咲く部分である短い枝1

編集顧問	小川秋實	秋元成太	村井 勝
	郡健二郎	藤岡知昭	
編集委員	大家基嗣	近藤幸尋	小島祥敬

本あたりの平均着果数は1.2で、平年の1.9を下回ったようです。しかし、果実の大きさは良好のようですので、受粉後は順調に成長していることが推測されます。

収穫が減った要因としては、今年の4月に県全域で低温や降霜が相次いで雌しべが枯れてしまったことや、開花時期に悪天候が続き、受粉が進まなかったことが考えられます。一方、低温や降霜に対してスプリンクラーで木に絶えず水をかけ、氷点下で水が凍る際のわずかに生じる熱により花芽を守る対策を講じた園地は、よく結実していたという調査結果も出ているようです。

つまり、このような春先の「小さな工夫」が、結果として大きな差を生んでいることがわかります。これは臨床における、手術をはじめとした治療にも大いに当てはまります。手術中の出血に関して的確な処置を行うことにより、その後の手術後の経過が安定していることはよくあることです。「やはり、いざという時の引き出しの数を増やすことは大事だな」と、甘い佐藤錦を食べながら考えた次第です。

(近藤幸尋)

臨床泌尿器科 (第75巻 第9号) (通巻902号)
2021年8月20日発行 (毎月1回20日発行)

定価: 3,080円 (本体2,800円+税10%)

2021年年間購読料
(増刊号を含む13冊, 税込, 送料小社負担)
冊子版 43,824円
電子版 (個人) 43,824円
冊子+電子版 (個人) 49,324円

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5724
(担当: 金子・今田)

販売・PR部直通 (03) 3817-5659

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

振替口座 東京 00170-9-96693番

印刷所 ㈱双文社印刷 電話 (03) 3973-6271

広告申込所 ㈱文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2021. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

* 「臨床泌尿器科」は株式会社医学書院の登録商標です。